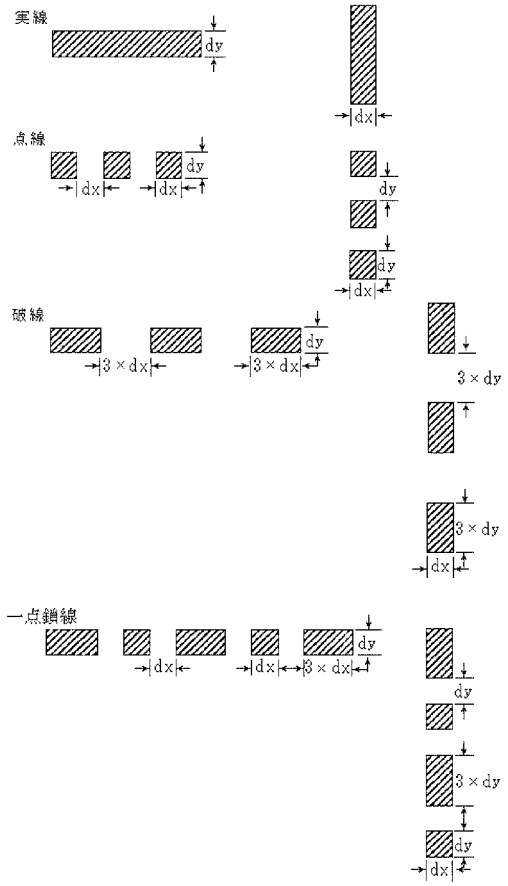
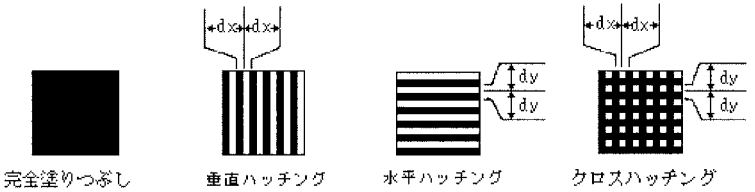
別記第10　線種と論理画素の大きさの関係



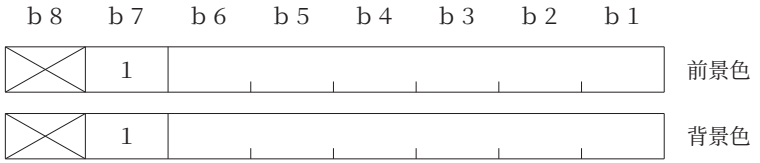
別記第11　テクスチャパターンの構成

b６　b５　b４	テクスチャパターン
０　０　０	完全塗りつぶし（デフォルト）
０　０　１	垂直ハッチング
０　１　０	水平ハッチング
０　１　１	クロスハッチング

注　テクスチャパターンの塗りつぶしパターンは、次のとおりとする。ただし、dx及びdyがともに０の場合は、完全塗りつぶしとする。



別記第12　ＳＥＬＥＣＴ　ＣＯＬＯＲの構成



注　背景色は、１価オペランドが２つの場合に限る。

別記第13　ＰＯＩＮＴの種類及び動作

ＰＯＩＮＴの種類	動作
ＰＯＩＮＴ　ＳＥＴ　ＡＢＳ （１の多価オペランド）	オペランドで指定された絶対座標値に描画点を設定するが、描画はしない。
ＰＯＩＮＴ　ＳＥＴ　ＲＥＬ （１の多価オペランド）	オペランドで指定された相対座標値を現描画点の座標値に加え新たな描画点を設定するが、描画はしない。
ＰＯＩＮＴ　ＡＢＳ （１の多価オペランド）	オペランドで指定された絶対座標値に描画点を設定し、論理画素の大きさの点で前景色により描画する。
ＰＯＩＮＴ　ＲＥＬ （１の多価オペランド）	オペランドで指定された現描画点からの相対座標値に描画点を設定し、論理画素の大きさの点で前景色により描画する。

注　（　）内は、オペランドの種類と数を示す。以下別記第14から第16までにおいて同じ。